

## 健康の殿堂

—19 世紀後半のアメリカにおける YMCA と「筋骨たくましいキリスト教」—

スポーツ文化研究領域

5014A034-3 松下 大樹

研究指導教員：石井 昌幸 准教授

### 0. 序章

普通の人びとがなぜわざわざスポーツをするのか。例えば、健康のためにフィットネスクラブに通う人びとがいる。では、この「健康主義思考」は一体どこから生まれたのだろうか。

そこで注目したいのが、キリスト教青年会（以下、YMCA）におけるスポーツ関連事業の歴史的展開である。ひとかどの信仰団体である YMCA は、いつ頃いかにして身体運動を受容したのだろうか。彼らが求めていたのは、まさしく「健康」だった。それはまた、同時代のアメリカに浸透した「筋骨たくましいキリスト教」の一端ともみなされる。本論文では、19 世紀後半のアメリカにおいて、YMCA と「筋骨たくましいキリスト教」がいかにして結びつけられていたのかを明らかにする。

### 1. YMCA と中産階級、中産階級とスポーツ

1844 年にロンドンで生まれた YMCA は、1851 年にはボストンにも伝えられた。当初は福音主義に基づく活動に限られていたが、しだいに図書館や職業案内所など、幅広い事業を展開するようになった。YMCA は都市にはびこる誘惑に「向こうを張った呼び物」を提供することで、都市に出てきた若者にとっての「第二の故郷」となった。

YMCA の活動は、中産階級による中産階級のためのものだった。その頃、中産階級のあいだでは、「スポーツ信条」が浸透しつつあった。これは、スポーツへの参加を、健康増進や道徳改善、性格形成の手段とみなす新しい発想だった。この信条のもとで、身体の「健康」のみならず、「男らしさ」を獲得する手段としての「健全な余暇」や「合理的娯楽」が推奨された。YMCA が体育館をもつようになったのも、まさにこの時代のことであった。

### 2. 体操指導者たちの群像

19 世紀後半には、社会全体で体育館ムーブメントが展開されていた。それは学校の内外を問わず、身体の「健康」を目的としたものだった。例えば、大学ではヒッチコックやサージェントが学生に軽体操を指導し、「人体計測学」に基づく運動処方をおこなった。一方で、ルイスやウィンドシップは、診療所を備えた商業体育館を経営し、それぞれ独自の体操を指導した。

こうしたなかで、どのような体操を教えるべきかという「方式論争」が勃発した。それはドイツやスウェーデンの体操を巻き込みながら、1885 年に設立されたアメリカ体育振興協会や、1889 年のボストン会議で盛んに議論されることになった。

### 3. YMCA と体育館

YMCA は体育館を「誘惑に対する防衛手段」とみなし、1869年に初めて体育館を導入した。1872年には、ボストンYMCAがトレモント体育館を買収し、「身体事業[physical work]」に着手した。しかし、その運営をサーカスの曲芸師に委託したことが、ある種の論争を引き起こすことになった。「YMCAが体育館をキリスト教化するのか」、それとも「体育館がYMCAを世俗化するのか」。この時代は「サーカスの時代」とも呼ばれている。

こうした状況を打破したのが、ロバーツだった。1875年にボストンYMCAの体育館長に就任すると、「安全で、短時間でできる、簡単で、有益な、楽しい」運動を指導した。また、体育館を「健康の殿堂[Halls of Health]」と呼称し、「健康」の名のもとに軽体操を推奨した。1881年には北米YMCA同盟の大会で「ダンベル・ドリル」を実演し、「健康の法」に従順である必要性を説いた。また、1885年にはYMCAの機関紙『ウォッチマン』のなかで、体育館における「信仰復興」を勧めていた。こうして、若者は「純潔」に導かれようとしていた。

### 4. 体操からスポーツへ

1890年代には、YMCAの「身体事業」の中心が体操からスポーツへ移行した。そこには、科学的な体育を志したギュリックの台頭やトレーニング・スクールの設立が関わっていた。

1887年、YMCAの指導者養成を目的とする学校に体育館部門[gymnasium department]が設立されると、ベテランのロバーツと若手のギュリックが

指導者として招聘された。そこでは、体操の実技のみならず、スポーツの実技、さらには人体測定学や解剖学、生理学を含めた理論が指導された。そうしたなかで、医学訓練を受けてきたギュリックが統率をとるようになると、ロバーツは1889年にこの部門を辞職した。その後、体育館部門は1890年にトレーニング・スクールとして独立し、体育部門[physical department]へ改称した。

1891年には、ギュリックのもとで指導を受け、スクールの指導者となったネイスミスが、バスケットボールを考案した。こうして「競技スポーツ主義」を採用したスクールは、1895年に「アスレティック・リーグ」を立ち上げた。しかし、これによって事実上プロ化したYMCAも現れ始めた。結果的に、YMCAは「純潔」を失うことになった。

### 5. 終章

YMCAにおける「筋骨たくましいキリスト教」の受容と展開を、同時代の体育館ムーブメントとの連続性において検討することで、YMCAにとっての「健康」が「(身体的に)健康」かつ「(社会的に)健全」で「男らしい」状態を意味していたことが明らかになった。アメリカのYMCAにおける「筋骨たくましいキリスト教」とは、こうした意味での「健康」状態を身体運動によって獲得することであった。スポーツを推進する以前から、YMCAは体育館における体操によってそれを実現しようとしていた。「筋骨たくましいキリスト教」は、1880年代半ばまでに、「健康」の名のもとにYMCAの「身体事業」と結びつけられていた。